

## 女性の就労と喫煙習慣: 途中基礎資料

永谷 照男 (Teruo NAGAYA)  
名古屋市立大学  
大学院医学研究科 公衆衛生学

第71回日本公衆衛生学会総会  
(2012.10.24, 山口)

1

### 目的

最終目的: 女性の就労による健康影響の評価。  
今回は 就労と喫煙習慣の関連を示す。

対象者 2012.10.3 現在 (抄録資料を更新)

同意を得た 健診受診女性 4864名 のうち、  
学生や休職中を除き、現病・妊娠なし、  
今回の調査項目に欠損なし、をすべて充たした  
3816名。年齢: 平均(sd) = 38.1(6.2) 歳

2

### A: 就労と労働時間の分布と平均

就労	n	平均年齢(sd)	週労働時間 (h/w)				
無職	626	39.9(4.9)	<40	<45	<50	50≤	平均(sd)
非正規	1163	39.7(6.1)	---	---	---	---	---
正規	2027	36.7(6.3)	---	---	---	---	---
			773	288	64	38	29.9(12.2)
			348	900	374	405	43.2(7.6)

3

### B: 就労と喫煙習慣 (非/既/現喫煙)

就労	喫煙習慣 n(%)		
	非喫煙	既喫煙	現喫煙
無職	552(88.2)	58(9.3)	16(2.6)
非正規	923(79.4)	129(11.1)	111(9.5)
正規	1552(76.6)	254(12.5)	221(10.9)
計	3027(79.3)	441(11.6)	348(9.1)

$p < 0.001$  by Mantel-Haenszel  $\chi^2$ -test

4

### C: 就労と喫煙量、現喫煙者 (n=348) の分布と平均喫煙本数

就労	喫煙本数 (cigarettes/d)			
	<10	10	10<	平均(sd)
無職	5	6	5	10.4(5.1)
非正規	26	45	40	11.8(6.1)
正規	62	79	80	11.5(6.1)
計	93	130	125	11.5(6.0)

$p = 0.687$  by ANOVA

5

### D: 就労別の労働時間と喫煙本数 との相関、就労している現喫煙者

週労働時間と1日喫煙本数との age-adjusted Spearman's r	
非正規	0.083 ( $p = 0.389$ , $n = 111$ )
正規	-0.012 ( $p = 0.855$ , $n = 221$ )
非正規+正規	0.027 ( $p = 0.627$ , $n = 332$ )

6

### まとめ

- 労働時間は 非正規<正規。
- 喫煙率 (非/既/現) は 就労と正の関連を示した。既・現喫煙率は 無職<非正規<正規。
- 現喫煙者の喫煙量は 就労や労働時間と関連しなかった。
- 上記の結果は年齢に影響されなかった。

今後、対象者を追加し、健康指標や家庭要因 (配偶者・子の有無など) を加え、女性の就労が生活習慣や健康に与える影響を検討する。

7

### この研究は

三菱財団、日本健康増進財団、ヘルス・サイエンス・センター、愛知健康増進財団の助成金と文科省・科学研究費を用い、

国際セントラルクリニック (名古屋市中村区、事務長: 近藤康明、理事長: 内藤靖夫) の多くの受診者と職員の協力で実施している。

研究経過は下記 HP に順次開示している。

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kouei.dir/moku%20sinkou.html>

8